事例No.	3101
公表年度	R6
団体の属性	中核市
団体名	愛知県豊橋市

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	医療・福祉・健康

事例内容・タイトル

AIによるケアプラン作成

出典

自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ（第2回）③

本格導入 09

AIによるケアプラン作成（愛知県豊橋市）

導入分野：福祉・介護

AIの機能：行動最適化

クラウド

非公開データ

■事業概要：

- 豊橋市は、2018年7月よりAIを活用した要介護認定者等の介護サービス計画（ケアプラン）の作成支援を行っている。改善効果の見られたケアプランを良いプランとして学習し、それをもとにAIが最適なケアプランを作成する。AIが作成したケアプランは、ケアマネジャーが内容を確認し修正した上で、使用する。

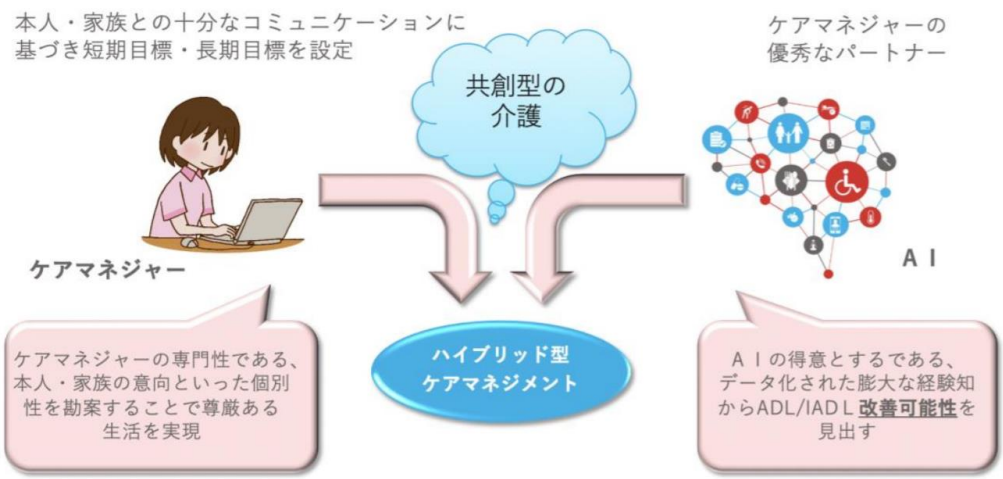
■効果：

- ケアマネジャーのケアプラン提案の幅が広がった他、新たな気づきが得られた。

■取り扱う主なデータと共有・提供の範囲：

- 実証研究において、豊橋市はケアプラン作成事業者に学習データを提供した。具体的には、豊橋市が保有する要介護等認定における訪問調査項目（74 項目）、主治医意見書のデータ、要介護・要支援結果及び給付実績に関するデータである。自治体は民間企業に対して、個人情報を提供する場合は匿名化が必要であるが、匿名加工作業は、市の介護保険システムの保守・管理を請け負っているシステム開発事業者に委託した。

ケアマネジャーと AI の関係



出所）「2018 年度 ＡＩを活用した自立支援促進事業AI を活用したケアプラン作成に伴う要介護（要支援）認定者の状態変化に関する調査研究」（株式会社シーディーアイ、2019年）

スケジュール

- 2017年5月：　事業者からの提案を受けて検討を開始
- 2017年7月：　実証研究協定締結
- 2017年11月～2018年2月：　ＡＩを活用したケアマネジメント（実証研究）を実施
- 2018年7月：　「ＡＩを活用した自立支援促進事業」開始

事例のポイント

- AIは学習した過去データに基づき、ケアプランを提案する。そのため、過去データが無く、AIが学習をしていない個人環境要因（例：本人の経済力や家族の介護力など）は考慮されることはない。AIを活用したケアマネジメントでは、 AIの提案に基づき、ケアマネジャーが本人や家族の希望を聞きながら業務を実施している。